

名 称 「駒ヶ嶺戊辰戦役の碑」

所在地 駒ヶ嶺字東善寺下

概 要 戊辰戦役における浜通りの最後の決戦場となったのは、駒ヶ嶺から新地にかけてであり、特に駒ヶ嶺城が攻防の中心となった。

駒ヶ嶺城は8月11日に落城し、同月20日に反攻作戦が行われたが、兵器の違いなどから不成功に終わった。ここには、浜通りにおける戦死者の塔と、記念碑戦死塚が建っている。

民 俗 芸 能

名 称 「福田十二神楽」

所在地 福田字諏訪 諏訪神社

平成5年3月26日 県重要無形民俗文化財指定

概 要 江戸時代末期に宮城県伊具郡丸森町竹谷より伝授され、以後代々伝承して現在に至っている。諏訪神社の春秋（5月3日、11月3日）の例祭に奉納することを基本としている。

福田に伝えた丸森町竹谷の神楽は廃止されている。竹谷では、伊勢神宮より伝授されたという記録があり、福田のほか駒ヶ嶺及び白石と塩釜に伝えられている。

系統は、出雲系法印神楽の流れを汲むもので、福島県には類例が少ない。

継承は一代7年間で、大字福田地内の小学生（8～12歳）の長男12名で構成する。現在第20代目の神楽師が継承している。

名 称 「高田岩戸神楽」

所在地 駒ヶ嶺字東雨溜 石田功一方

概 要 明治20年代に相馬市成田から伝授された。高田地内の青壮年の同好者によって構成され、子眉嶺神社の例大祭に奉納するほか、厄祓いなどを行う。

名 称 「釣師神楽」

所在地 谷地小屋字釣師 砂金隆光方

概 要 いついかなる経路で伝承されたかは不明。一説には、明治初年に若者たちが博打